

## 「ひよこ音楽隊～みんなで作ろう音楽の輪～」活動報告

### 1. はじめに

医療の進歩により診断・治療技術が進み、救命され、障害を残さず健康になる子どももいる一方で、長期におよび重度の障害を持ちながら生活する子どもも増えている。そのような子どもも、健康な子どもと同様に喜びや楽しさを感じる力を持っているが多くの子どもたちはその感情を表出することが難しい。そこで、ポッチャサークルで交流のある豊橋養護学校のポッチャクラブ児童・生徒とその家族を主に対象とし、音楽を通じて交流することで様々な効果が期待されると考え、この「ひよこ音楽隊」を立ち上げた。本報告では、「ひよこ音楽隊」の平成 24 年度活動報告を行う。

### 2. プロジェクトの内容

#### 1) 本プロジェクトの目的

子どもたちと音楽を通じて交流を深めることにより楽しみを共有し、子どもの感情表出を促すことができる。また学生は、音楽が子どもに与える影響を直接感じることで、音楽療法の有効性を考え、今後の看護実践に生かすことができる。

#### 2) プロジェクト内容

7月7日に小学校での教諭の経験があり新城中学校の教諭である安形ゆきえ先生を招き、子どもとともに音楽の方法についてご指導をいただき、以降、演奏の練習や手作り楽器の製作を行った。

製作した楽器はプラスチックや紙コップにビーズを入れたマラカス(写真左・中央)、シュシュ(髪ゴム)に鈴を縫い付け(写真右)、楽器を握ることができない子どもたちでも腕につけて演奏ができるように工夫をした。(図 1 参照)



図 1 手作り楽器

8月8日に豊橋市障害者福祉会館(さくらピア)で、豊橋障害者(児)団体連合協議会が主催する、さくらピアサマースクールで演奏を行った。(図 2 参照)



図 2 さくらピアでの演奏の様子

演奏では手作り楽器を配り、子どもとともに音楽を作ることや、曲にちなんだダンスや演出の工夫をした。音楽が鳴り始めるとともに声を出し始める子どもや、一生懸命鈴やマラカスを振る子ども、立ち上がり一緒に踊ろうとする姿が見られ、音楽が子どもにとって楽しいものであるということを実感した。

また 12 月 23 日には豊橋市総合福祉センター(あいトピア)で豊橋市肢体不自由児(者)父母の会が主催するクリスマス会に参加し、演奏を行った。(図 3 参照)



図 3 あいトピアでの演奏の様子

### 3. その他の活動

11月3日に医療法人松崎病院から依頼を受け、松崎祭にボランティアスタッフとして参加した。当初は演奏を予定し、計画を行っていたが、屋外であることや使用する楽器などの関係により演奏ではなく、模擬店の手伝いをさせていただいた。

### 4. まとめ

本報告書では、「ひよこ音楽隊」の活動内容について述べた。このプロジェクトでは、障害を持った子どもに対して、音楽会を企画・開催し、音楽を通して子どもたちと交流する機会を作ることができ、音楽が子どもにもたらす影響について実感することができた。また、松崎祭からの依頼があったように、音楽を通して交流すること、は障害を持った子どもたちだけでなく、精神疾患を患った人や高齢者など全ての人に関して様々な良い効果が得られると考える。

今後の課題として、小児以外の場での様々な年代に対応し、個々の集団のニーズや能力に応じた曲や参加方法を検討していく必要があると考える。

### 5. 謝辞

本プロジェクトを遂行するにあたり、プロジェクトを主催してくださいました理事長ならびに先生方に深く感謝いたします。また、本企画の趣旨にご理解、ご賛同いただき学生プロジェクトとして採択してくださいましたこと、ご指導ご協力してくださいました皆様に厚くお礼申し上げます。